



かわら版

Vol.129

2024年12月20日発行

2025年は いよいよ 東京にてデフリンピック！！

日本人らしい
おもてなしが
したいな



世界中から
たくさん
ろう者が来るんだね



東京2025デフリンピック
ボランティア募集サイト

1月末までね



東京2025
デフリンピックの
ボランティア募集も

国際手話とか
難しそう...



うーん...
でも

こんなチャンスは
一生に何度もある
ことじゃないし...



千葉県には
成田国際空港も
あるし

ハ～
おもてなし
ボランティア
かあ...

(((



令和7年の
1月から3月まで
全6回の講座を予定

独自のボランティア
養成講座を
企画しているみたい



国際手話なら
千葉県聴覚障害者
協会で

※1/25 2/15,22 3/1,8,22 全て(土)18:30~20:00 県センターにて

※お問い合わせ・お申し込みは
千葉県聴覚障害者協会
企画室デフリンピックチームまで



ガンバレ～

受講料は
三千元かあ...
受けてみようかな？



千葉県聴覚障害者協会
で
取り組むイベントに
参加協力の意思のある方
よ



対象となる方は...
デフリンピックに
関連する

サークル紹介

私たちは匝瑳市手話サークル「もみじ」です。
 定例会は第一と第三火曜日、10時から12時に開催しています。平日午前中の開催なので会員数は10人程度と少ないのですが、地域のろう者の協力をいただきながら、例えば身近な話題についてのおしゃべりを手話でどう表すか？といった学習を通して手話の勉強に励んでいます。

「もみじ」の創立は1992年の様です。きっかけは、旧八日市場市(現匝瑳市)の夜のサークルが先にできていて、昼も集まりたいという声があがり、昼に活動する「もみじ」が立ち上がったと聞いています。この頃のことを知る会員が現在いないのですが、その様に聞き及んでいます。

特集 24 号
 東総ブロック匝瑳市
 もみじの巻~♪



活動といたしましては、地域の学校から依頼があれば手話学習のお手伝いなどもしています。小学校の「手話クラブ」に対して年6~7回、ろう者とサークル員が協力しながら楽しく子ども達と交流をしております。

今年度の10月20日に西海匝ろう協会創立30周年記念講演が開催され、石川県聴覚障害者センター施設長の藤平淳一氏を講師に招いて、能登半島地震のお話を聞きました。県内からたくさんの方々に参加していただき、災害に対しての今後の備えや課題などを皆で考えました。

また、市社会福祉協議会と匝瑳市が連携して毎年開催されるボランティアキャンペーンに、匝瑳市夜の手話サークル「もくれん」と共に手話コーラスで参加しています。昨年は匝瑳市市長がステージに飛び入り参加で一緒に手話コーラスをしていただき大変盛り上がりましたが、今年も連続で参加してくれました。



その他にもデフリンピックをアピールするためのパネル展示や、11月30日には日帰り旅行で豊洲に行くなど、楽しい活動をしております。これからも、匝瑳市手話サークル「もみじ」をよろしく願います。



特集「身近な地区社協を知ろう」

- その他主な内容
- 令和6年度予算案・市社協事業について
 - 生活支援コーディネーター通信
 - 人生の先輩に聞いてみた そろさ！コレが元気の秘訣
 - information

第5回役員会議 11月17日オンライン開催 次回は1月12日予定
 手話を考えるフォーラム第2分科会総括、分担金上限撤廃について、
 手話を広める知事の会報告、デフリンピック新春イベントについて 他



県社連ホームページ <http://www.kensaren.sakura.ne.jp/>
 発行：千葉県手話サークル連絡協議会 責任者：外口晴久